



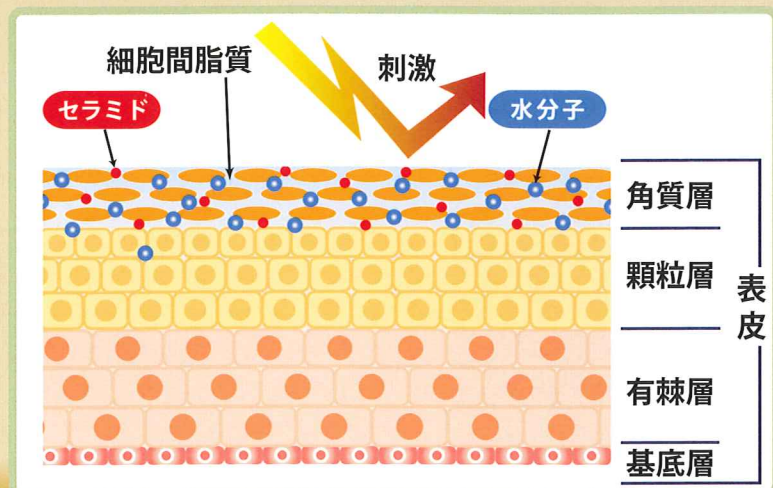
馬セラミド

セラミドとは

人の皮膚は皮下組織、真皮、表皮からなっています。表皮は僅か0.1~0.3mmの薄さでありながら、さらに生体内部側(真皮側)より基底層、有棘層、顆粒層、角質層に分類されます。

各層ごとに脂質の構成成分は異なり、基底層ではリン脂質およびコレステロールが主成分として存在します。基底層から顆粒層に至る間にグルコシルセラミドが合成され、顆粒層ではグルコシルセラミドが主成分として存在します。

角質層ではグルコシルセラミドを前駆体としてセラミドが合成され、角質細胞間脂質の主成分として存在しています。このセラミドは、皮膚の最外層での水分の蒸散および外部刺激からのバリア機能を果たし、皮膚の保湿やアレルギーの侵入防止に役立っています。



なぜ 馬セラミドか？

現在、市場には植物性由来のセラミド製品が多く扱われていますが、馬セラミドはこれら植物性由来のものより人セラミドに組成が近く、浸透力や保湿力などで優れていると考えられます。



加齢とセラミド

健康的な角質層内の水分量は20%前後と言われ、この水分量を保持している要因の一つが「セラミド」です。

しかし皮膚のセラミドは年齢を重ねるほどに減少し、50歳代では20歳代の約半分にまで減少すると言われています。セラミドが不足すると角質層内の隙間を埋めることができずバリア機能が低下してしまいます。

年齢を重ねた肌が乾きやすく、シワなどの肌老化が現れやすいのはこのためで、みずみずしく健やかな肌を保つためには、不足しがちなセラミドを外部から補うことが大切です。

加齢とセラミドの関係 (イメージ)

